

## 1. 食品業界以外の会社(容器用鋼板メーカー)に、HACCP 認証いたしました。

JICQA では、食品業界以外の業種の飲料缶や食缶の素材である容器用鋼板(ブリキ)メーカーである、新日本製鐵株式会社 八幡製鐵所 ブリキ工場殿(認証範囲:電気ぶりき、ティンフリースチール)、名古屋製鐵所 錫メッキ工場殿(認証範囲:電気ぶりき、ティンフリースチール、ラミネート鋼板)及び、広畑製鐵所 錫メッキ工場殿(認証範囲:電気ぶりき、ティンフリースチール)の 3 工場を、2011 年 1 月 20 日付けで HACCP 認証いたしました。この認証規格は FAO/WHO の CODEX 食品規格委員会の HACCP ガイドラインを和訳した「JICQA 仕様 - HACCP システム:審査の要求事項」となっております。

認証取得の理由として、近年、全世界的な「食の安全」に関する危機意識の高まりを背景に、とりわけ海外の食品・飲料の大手需要家を中心に、食品産業連鎖(フードチェーン)の観点から、容器メーカーや素材メーカーに対しても、食品製造時の安全管理水準に沿った高いレベルを求める声が強くなってきているためと聞いております。

食の安全・安心・信頼をあたえる食品安全規格である HACCP、ISO 22000 及び FSSC 22000 は、食品、飲料等のサプライチェーンに関連していることから、食品・飲料等の業界だけではなく、これらの業界に関連している他の業界からも注目を浴びております。

JICQA ニュースレター2010 年 12 月号でもお知らせしました通り、大手飲料メーカーが取引先に対して FSSC 22000 認証取得を要請したこともあり、今後も食の安全・安心・信頼をあたえる HACCP、ISO 22000 及び FSSC 22000 の規格は、注目を集めそうです。

### 無料セミナー『ISO22000 の概要』のお知らせ

JICQA では、「はじめの一步」から「認証取得」まで、HACCP(危害分析・重要管理点方式)の内容が含まれている ISO 22000 の概要がわかる無料セミナーを全国 7 か所(東京、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡、沖縄)で実施しております。

詳しくは当社 HP(<http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/iso22000/index.html>)をご確認ください。

ISO 22000、HACCP、FSSC 22000 に関心をお持ちの企業様、認証取得検討されている企業様は、ぜひご参加を検討ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

担当:営業部 五弓(ゴキウ)、関、平塚  
(TEL:03-5541-2752)

## 2. 埼玉県目標設定型排出量取引制度に特化した無料セミナー開催をお知らせします。

ご好評を頂いております JICQA 無料セミナーでは、新たに埼玉県目標設定型排出量に特化した「埼玉県目標設定型排出量 無料セミナー」を開催いたします。

埼玉県内で相当程度多い温室効果ガスの排出をする事業者は、平成 21 年 4 月に施行された埼玉県地球温暖化対策推進条例に基づく「地球温暖化対策計画制度と目標設定型排出量取引制度」の対応が必要となります。

本セミナーの内容として、埼玉県目標設定型排出量取引制度の概要、排出量取引の際に必要な排出量検証を受けるための準備、方法及び費用及び JICQA の概要についてわかりやすく解説いたします。

本セミナーの講師は、ISO 14001 主任審査員資格及び排出量検証の検証人資格を保有している者が担当し、疑問に思われている点を懇切丁寧に解説いたします。

詳しくは当社HP(<http://www.jicqa.co.jp/06kenshu/mseminar/>)をご覧ください。

「埼玉県目標設定型排出量取引制度 無料セミナー」

開催日時	(1)2011年3月1日(火) (2)2011年5月13日(金) 各日とも 14:00～16:30(13:30 受付開始)
開催会場	JICQA 公開研修センター (東京都中央区八丁堀 4-13-1 八丁堀東興ビル 4F / JR・地下鉄八丁堀駅 B3 出口より徒歩 30 秒)
本セミナー対象者	埼玉県地球温暖化対策推進条例において特定事業者該当する温室効果ガス排出量報告書の責任者、ご担当者の方
本セミナー内容	(1)埼玉県目標設定型排出量取引制度の概要 (2)排出量検証を受けるために必要な準備(3)排出量検証のスケジュール及び費用 (4)質疑応答等

募集人員は各回先着 30 名様限定とさせていただきます。

お申込は 1 組織(1 社)につき、2 名様までとさせていただきます。

お申込が 2 組織を下回り、公平性の確保が懸念される場合は、セミナー開催を中止とさせていただきます。

同業の方のご参加は、ご遠慮いただいております。

上記条例に該当する企業様、または関心をお持ちの企業様は、ぜひご参加を検討ください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

担当:営業部 五弓(ゴキウ)、関、平塚  
(TEL:03-5541-2752)

### 3. 複数の事業所を有する組織に対するマネジメントシステム現地審査工数の算出方法変更をお知らせします。

公益財団法人日本適合性認定協会(JAB)は、このたび、認証機関に関する ISO 9001、14001 等マネジメントシステムの審査工数を算出するための基準「JAB MS305:マネジメントシステム認証機関に関する認定の基準についての指針-QMS 及び EMS 審査の工数-」の解釈を統一し、明確にいたしましたので、JICQA では、複数の事業所(サイト)を有する組織に対する現地審査工数の算出方法を、本年 5 月以降に実施する審査から変更させていただきます。ただし、航空宇宙については JIS Q 9100:2009 に限り先行して、本年 2 月以降から実施させていただきます。

工数算出方法の詳細をご希望のお客様は、営業部又は審査各部までお問い合わせください。

担当：営業部 五弓(ゴキウ)、平塚(TEL:03-5541-2752)  
審査第1部 西脇、審査第2部 勝俣(TEL:03-5541-2754)  
審査第3部 伊藤(TEL:03-5541-2756)

### 4. JAB 認定シンボルの切替期限について、お知らせします。

JAB 認定シンボルの切替につきましては、2008 年 7 月号の JICQA ニュースレターにてお知らせしておりますが、期限が本年 9 月 14 日と近づいてまいりましたので改めてのご案内です。

JICQA 登録マークと共に JAB 認定シンボルを名刺、パンフレット、ホームページ等にご使用されている場合、現在ご使用の JAB 認定シンボルは <1> でしょうか、ご確認ください。<2> をご使用でしたら 2011 年 9 月 14 日までに <1> に切り替えて頂く必要があります。

<1> 切り替え後の新しいシンボルマーク



<2> 旧シンボルマーク



RvA 認定シンボルをご使用のお客様は、下記もご一読ください。

EMS 及び ISMS の規格を認証取得されて RvA 認定シンボルもご使用のお客様は、現在ご使用のシンボルをご確認ください。なお、QMS についてはシンボル下部の認定番号に変更がないため、切替は必要ありません。

RvA 認定シンボルにつきましても最新のシンボル<3>への切替が必要となります。期限は 2012 年 9 月 15 日までとなっております。現在<4>をご使用のお客様は、JAB 認定シンボルとあわせて切替頂くことをお勧めします。

<3> 切り替え後の新しい  
シンボルマーク



<4> 旧シンボルマーク



担当:登録部 竹内、早川、黒澤  
(TEL:03-5541-2751)

JICQA登録組織件数情報			(2011年1月31日現在)		
【マネジメントシステム登録件数】			【JIS認証件数】		
適用規格	新規登録 件数 *1	現在登録 件数	登録区分	新規認証 件数 *2	現在認証 件数
ISO 9001	12	2,805	A; 土木・建築	0	26
ISO 14001	5	1,627	B; 一般機械	0	23
OHSMS	0	47	E; 鉄道	0	4
ISO 22000	2	29	G; 鉄鋼	0	378
HACCP	3	19	H; 非鉄金属	0	33
ISO 27001	1	214	R; 窯業	1	16
ISO 20000-1	0	7	Z-1; 包装・容器	0	12
JIS Q 9100	2	79	Z-3; 溶接	1	14
BS 25999-2	1	2	合計	2	506
合計	26	4,829			
*1: 2011年1月(第520~523回)の登録決定会議で 審議され、新規に登録された件数			*2: 2011年1月(第103回~104回)のJIS認証決定会議で 審議され、新規に登録された件数		
TS 16949登録組織情報(SRI登録 *3)					
適用規格	現在登録 件数				
TS 16949	94				
ISO 9001	3				
*3: TS16949の審査業務はSRI-JICQAで行っております。					



日本検査キューエイ株式会社 JIC Quality Assurance Ltd. (JICQA)

〒104-0041 東京都中央区新富二丁目15番5号(業務部:高崎、樋口)

TEL:03-5541-2751 FAX:03-5541-2955

JICQA ニュースレター